

富士山・南アルプス立体図



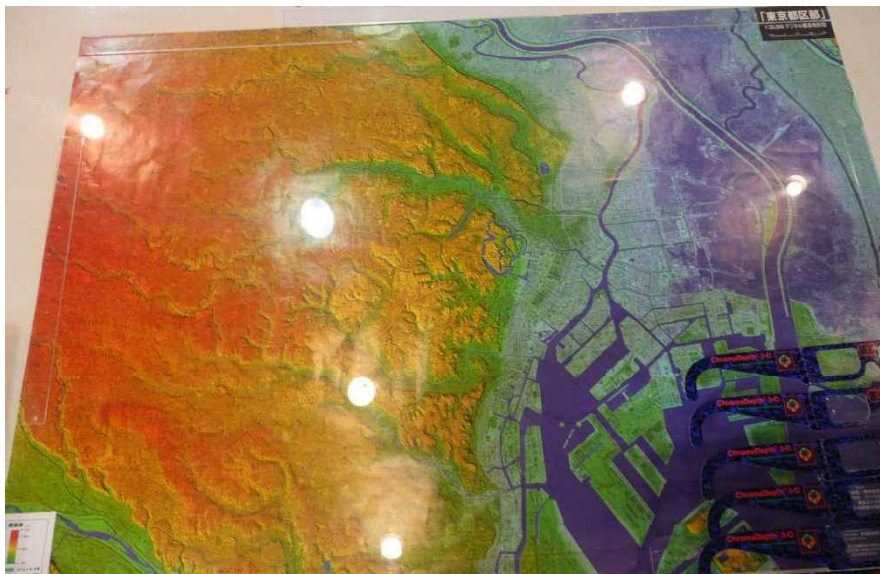
中央テーブル1



日本とその周辺を、
地図と3D模型と
でくらべ、立体感
を感じてもらう。



飛騨山脈の3D模型では、
地形図ではわからない、
実際に現地に行ってもわ
からない、立体感を感じ
てもらう。



1/2.5万デジタル標高地形図「東京都区部」

デジタル標高地
形図と3D模型と
でくらべ、立体感
を感じてもらう。



デジタル標高地形図の3D模型

中央テーブル2

左が古澤春雄コレクション 右が3Dプリンター出力



阿蘇山周辺



赤城山周辺



箱根山周辺



男体山周辺



磐梯山周辺



屈斜路湖周辺



日本火山地帯精密地形模型

日本火山地帯精密地形模型は、古澤春雄・春子ご夫妻（共に故人）が作製・保管されていたもので、半永久的な保管と展示への活用を願っていたご夫妻の遺志を尊重され、ご遺族から平成11年に国土地理院に寄贈されたものです。

国土地理院では、この模型が国土地理院の地形図を活用した極めて質の高い地理・理科教材であるだけでなく、芸術の域にも達した「作品」として、これまでもその制作方法と併せて広く紹介してきました。

春雄氏が地形模型の制作を始めたのは、東京の明治神宮絵画館を訪れた際、館内に飾られたたくさんの絵画を見て、「自分も後世に残せるものをつくろう」と思ったのがきっかけだったとのこと。

教員時代の昭和3年から理科教材として地形模型の作製を行い、昭和11年頃より精密な地形模型作製の模索を始めました。

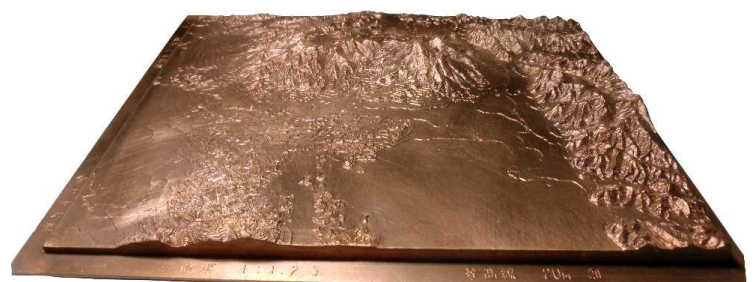
昭和5年に教職を辞した後、本格的に模型作製の研究を開始して、昭和10年に電気鑄造法による銅製模型作製法を完成させ、昭和12年までに銅製模型を多数作製しました。しかし、第二次世界大戦の激化による金属不足のためこれらの銅製模型すべてを国に供出してしまいました。

終戦後、あらためて日本火山地帯精密地形模型作製の構想をたて、昭和29年から原型を作製し始め、昭和41年に全76点を完成させました。模型は、自然な景観美を損なわず、かつ保管することも考え、いくつかの例外を除いて縮尺は1/10万、高度比は1:1.25とされています。

この企画展では、全76点の中から6点の原型模型を展示しています。



磐梯山(原型模型)



磐梯山(銅製模型)(参考)

立体地図に関する取組み

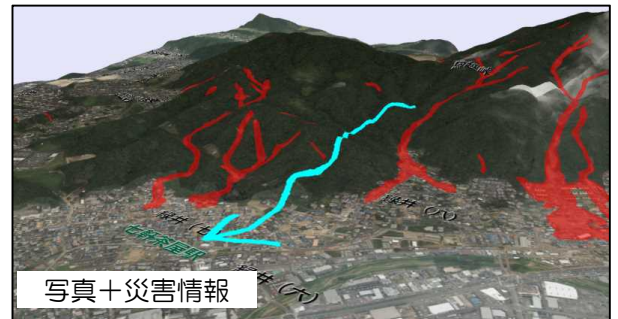
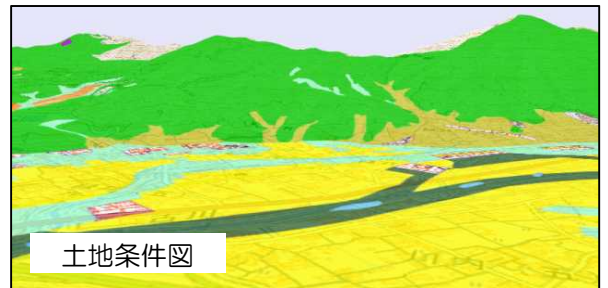
地図を見て地形を理解するには一定の判読力が必要です。

国土地理院では、地形を直感的に理解できるよう、誰でも・簡単に・日本全国どこでも3次元で見ることができます。

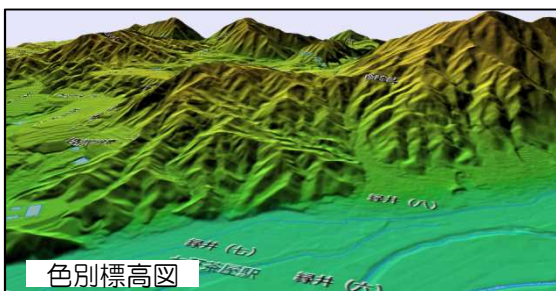
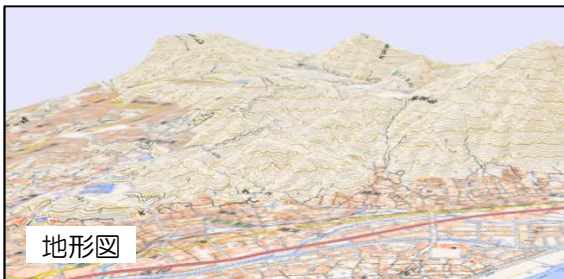
3次元の地図は、今後、社会資本の管理や防災業務、学校教育等、様々な場面で利用が期待されます。

立体地図を見る

■ 地理院地図

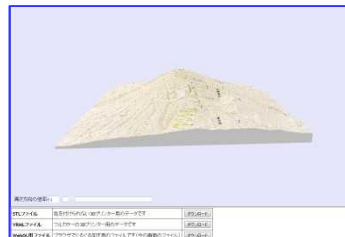


見たい地図を表示させて「3D、Globe」ボタンをクリックするだけで、3D地図や3D空中写真の他、土地条件図なども3D表示できます。



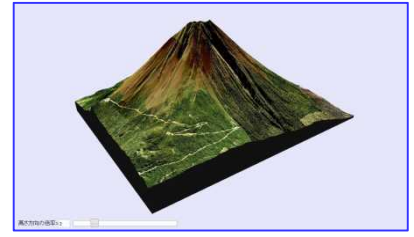
3Dプリンター用データのダウンロードも可能

富士山付近の3D地図



マウス操作で自由に
回転、拡大・縮小が可能

富士山付近の3D空中写真



スライダーを動かして高
さ強調を調整可能